

所 属	基盤整備部 森林課		
担当(係)名	間伐推進担当	内 線	3028

(款)6農林水産業費	(項)5林業費	(目)(17)間伐促進総合対策費
(明細書事業名) 防災環境確保間伐促進強化対策費 単独事業 間伐促進事業		

1 当初予算(要求)額(千円)

22,769

2 当初予算(決定)額(千円)

【財源内訳】

22,668

国庫
13,876

県債
0

一般財源
8,792

その他
0

(前年度 0)

3 事業概要

森林を健全な状態に保つには、計画的な間伐の実施が必要となりますが、奥地等で放置されたままの人工林や高齢級林では、経費負担や補助制度の制約等から間伐が進まない状況となっています。

このため、新たに巻き枯らし間伐や高齢級間伐に対して助成制度を創設することにより、間伐の一層の促進を図り、「災害に強い森林づくり」「地球温暖化防止のための森林整備」を進めます。

4 施策の効果

放置人工林の整備、高齢級の間伐を行うことにより森林を健全な状態に保つことができ、県土の保全、水資源のかん養、地球温暖化防止といった森林の有する多面的機能の維持・向上を図ることができます。

間伐目標面積(平成15年度):12,000ha

CO2吸収量:1,666千CO2-トン(全国4位)

5 要求の内容

巻き枯らし間伐モデル実施事業費

7,668千円

風雪害に弱い放置人工林において、巻き枯らし間伐をモデル的に実施するための経費に助成します。

高齢級間伐促進事業費

15,101千円

8 齢級以上のスギ人工林等に対して助成します。

6 用語の解説

間伐:木々が成長して込みあった状態から木々の一部を伐り、本数を調整すること

CO2吸収量:京都議定書及びその運用ルールに基づく県試算値

巻き枯らし間伐:幹に切り込みを入れる等伐るべき木を立ち木のまま枯らすこと

7 決定内容

巻き枯らし間伐モデル実施事業費

7,668千円

高齢級間伐促進事業費

15,000千円